

磐城時報

編輯 磐城石城郡平町組屋町十四
印刷 磐城石城郡平町組屋町十四
發行 磐城石城郡平町組屋町十四
電話 磐城石城郡平町組屋町十四
定額 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
廣告 第一行一十字一ヶ月五元
日刊(日曜、祭日)休刊

湯本町と内郷村の 磐炭本社の争奪戦

大勢は湯本町に決定 内郷で運動開始

磐城炭礦株式會社では炭礦界不廻し磐炭本社の移轉奪取運動を現の折柄經費の節減をはかり社開始することになったが、湯本の挽回を期する事になり本社町への移轉は殆んど決定的のもを石城郡内郷村に移轉し現のものと見られてゐるので、内郷村在の坑務所と合併せしむると云うが如何なる運動を開始するかにふことが決定されたのを聞き知就ては大なる注目を惹いてゐるつた湯本町では、磐炭の本社移が兩町村の奪取運動は相當烈化轉は湯本町に取つて可成り重大なるものと観測される。

湯本役場

七日同委員一同上京淺野社長に面會内郷村への本社移轉を變更して是非湯本町に移轉して貰ひたい、若し湯本町に移轉されることになれば現在町役場として同社から借受けて居る建物ほ直に返還するといふ條件を提出し常磐炭界の有力者を以て成る本の極力交渉した結果淺野社長も離會ではいよいよ今月中を以てこれを諒とし本社移轉地は湯本満期となる送炭制限の問題に關し町とする旨の回答を與へたが、この程協議會を開いた結果十尙ほ廿一日の重役會議後推答する云ふ事になつて各委員は十實行する事に決定したが制限率制等は懸て各炭礦に一派の活氣あるに對して、然るにこの交渉は聯合會の申合せに係る九分七を誘致するものと観られてゐる結果を知つた内郷村では、湯本屋五毛の土木會特別の九分二町に先手を打たれた形でその形屋五毛と都合實に九分九分即ち勢の容易ならぬを見て更に村會全生産の約五分の一に相當するを聞きいよゝ湯本町を向ふにのて而も今後の需要に際し斯磐城炭礦では現行の送炭制限が

十一、十二兩月の

一二割の送炭制限

木曜會で協議決定

十九日江名漁業組合からの報告によると石城沖は秋刀魚漁期に入り非常な活況を呈して來た目下のところ漁場は若手際並に宮城縣沖合にあり漸次本縣沖合に向つて進行して來るので本年は近年にない豊漁を見る模様である、相場は豊漁の爲め法外な安値で當業者はいさゝか弱り氣味である、今月下旬頃より本縣沖合に現れるものと見られるが

綴坑の排水と

住吉坑の開鑿

減のため現在の鑛業所を湯本町に移轉の意向を有する事傳へられ湯本町では去る昭和元年失火によつて町役場が焼失したため現在は同町裏町にある磐炭舊鑛業所を借受執務中であつたが移轉説が傳はつたのでこの程磐炭に應舎を返還し村上泰氏の居宅に移轉執務してゐるが湯本町對磐炭事務所の移轉と共に町勢の發展を見るものとされ町民からはこれが實現を期待されてゐる

小山代議士

支那問題演説

平十三日會臨時會は二十二日午後七時半から平銀行樓上に開き代議士小山倉之助氏の支那問題について講演がある。

國井、麻生川兩氏

遂に收容さる

六萬圓費消事件か

警備銀行四倉支店長國井忠義各派とも一齊に活況を呈するた(三)並に磐城銀行員麻生川顯らうと。(四)の兩氏は十八日平支部豫審判事の令状により平刑務所未決監に收容されたが、傳ふる處によれば國井氏は行金六萬三千圓を費した事件らしく、麻生川氏は四倉支店の監督の職にあつたため收容さるゝに至つたものらしい。

秋刀魚群

沖合に現る

十九日江名漁業組合からの報告によると石城沖は秋刀魚漁期に入り非常な活況を呈して來た目下のところ漁場は若手際並に宮城縣沖合にあり漸次本縣沖合に向つて進行して來るので本年は近年にない豊漁を見る模様である、相場は豊漁の爲め法外な安値で當業者はいさゝか弱り氣味である、今月下旬頃より本縣沖合に現れるものと見られるが

片倉製糸の拂込

二十七日と決定

未拂込者は失格せしめる

來月中旬創立總會

片倉製糸株式會社の不足株りであるが、協議の結果第一回は全部片倉本社に於て引受ける拂込期日を來る二十七日と決定し、而して期日までに拂込みを爲さざる者は百圓につき日歩四錢の延滞料を徴收する事とし未拂込者に對しては催告狀を發し尙ほ拂込まざる者は失格せしむる事となつた、更に來る二十四日石城郡内の發起人會を開いて詳細な打合せをなす事になつたが、創立總會は來月中旬に開き得る見込みである。

大峯辯護士

平町に來る

辯護士大峯厚氏は今春熱海温泉都市株式會社の常務取締役として赴任したので平地方の訴訟事鎌田町製麵業荒川仙次郎方雇人務は舊事件の整理に止めてゐる坂田一郎(十八)は去る十月四日同氏は今回同會社の常務を平町二丁目雜貨商佐藤清方から辭任し再び平町に來つて一般法賣掛金十七圓を受取つた、横律事務所を取扱ふ事になつた、事領して宇宮宮市に至り昨十九日事務所は元石城郡役所脇に新築す平町に戻つて來た處を平署に捕らる等で落成するまで平署前九新はれた。

縣下中等校

辯論大會

縣立磐城中學校辯論部主催縣下中等學校辯論大會は來る十一月四日午前十時から縣中校講堂に開會するが當日は田村、安積、双葉、相馬、磐中の五校が参加する。

水路橋架設に關する

好間村の答申書(下)

下に替ゆるとは大なる不安を感ずる計劃にして大瀧江筋の前途誠に憂ふる所なり。今や該江筋は三十餘町歩の田地に灌漑し更に磐城炭礦々業用水に小田、隅田川炭礦々業用水に供給し近き將來に於ては入山採炭會社も引水の準備中の水路なるに不測將來を危地に陥るゝが如きは到底本村の同じ能はざる所なり。以上の理由を以て水路橋架設には同意せざるものとす。

館隣りに於て事務を取扱ふ由である。

撞球十勝會

平町南町

スラン撞球場の十勝會は二十日午後五時から開き本賞十等迄乙賞七等まで授與する。

儲蓄、貯蓄、共済、信用、利息、優厚、手續、簡便、利息、優厚、手續、簡便

主人の金を

横領して逃走

平町二丁目雜貨商佐藤清方から辭任し再び平町に來つて一般法賣掛金十七圓を受取つた、横律事務所を取扱ふ事になつた、事領して宇宮宮市に至り昨十九日事務所は元石城郡役所脇に新築す平町に戻つて來た處を平署に捕らる等で落成するまで平署前九新はれた。

大森勇氏の意見を駁す

馬目麥人生 (上)

▲十月二十日警報毎日新聞紙上に於ける大森勇氏の談話について、俺は一平町民として、又過般の大瀧問題協定批判演説會の主催者として一言駁文を草し所謂反對同盟會主催者及び三萬町民に呈するものである。

▲反對同盟會の最高幹部大森勇氏が「御大典前に同盟會を解散してその時會計報告もする事に相談が出来たのだが該問題の蒸し返して今少し延滞する事に致しました」とあるが、甚だ奇怪な言であるまへか、一体事件の蒸し返へしとは何を指すものか、もし過般の演説會をもつて事件の蒸し返しと謂ふならば、索強附會も甚だし。

▲五ヶ年に渉る全平町を擧げての反對理由の結果は、同盟會の反對理由の根本たる會社と水道は兩立せぬ云ふ主張を見事裏切つて、反對同盟會の主腦者を中心となり三月七日會社と水道が兩立する協定案を「ソノ」で作成したのである、當時俺は心中甚だ不平であつた、即ちこの問題を協定するに何等町民に相談せぬ一事である、しかも同盟會が前年聲を擧げて宣傳した「興亡常なき營利會社の貰ひ水は出来ぬ」發電に依る油水の混入「水路の地盤が危殆で陥没の憂がある」等は、最も完全と稱する協定案に全部含まれてゐるのは不可思議千萬であつた。

▲本月六日、縣より協定案の骨子も謂ふ可き水路橋架設の諮問に答申の町會が開かれたが一部町議を除いて平町は同意の議決をなしたが、一方平町と同じ大瀧江筋に利害關係を有する好間村では同日村會開催の上滿場一致不同意の議決をなしたのである。

▲茲に於て一般町民も俺も再びこの協定案の内容に疑義を抱いた事は當然ではないか。そこで俺等は此の協定案の内容の説明及び其の利害得失並に今迄の經過、今後の水道諸問題等を最も水道問題に精通せる、同盟會側及び會社側の人々に依つて町民一般に知らしめたいと云ふのが批判演説會開催の趣旨だつた。

▲然るに同盟會員はこれを問題の蒸し返へしだとなし、同盟會の解散及びこれに附隨する會務、會計の報告を延期する事は甚だ怪しからぬ振舞である。(續)

町と同じ大瀧江筋に利害關係を有する好間村では同日村會開催の上滿場一致不同意の議決をなしたのである。

警城病院改稱

市原病院

平町田町(電話二一四番)

内科、小兒科 市原 卯太郎
外科一般、婦人科 市原 陸郎
花柳病科 市原 三三男

最新滋強
回春劑
◎適應症 腦神經衰弱、ヒステリー、生殖不能、陰萎遺精、体力増進、新陳代謝等

平町專賣所 五丁目角 山野邊藥局

産婆

自宅に於て妊産婦をお取扱ひ致します

草野静枝

平町研町九番地(公園下) 電話(呼出)四四三番

銘酒 たひら正宗

御禮のため十一月十日迄特價賣出し仕候

發賣元

山崎合名會社

電話一〇番

高久病院

院長 高久 忠 平町電話二三五

御大典紀念

藤市蒲鋒店 遠藤市松

オピール錠

大平屋藥店



東京の二越来る

平町 住吉屋本店にて出張販賣

- 御召、小紋、大島、銘仙、帯地、半袴、モスリン等最新呉服類一級子供服、ショール、シャツ、靴下、石鹸、傘下駄、其他格安物品
- 御大典記念として席牌記念茶、風呂敷等贈り

三越 日本橋

辯護士 大嶺 庫

十月二十二日
追て御依頼事件は目下舊郡役所脇に建築中の事務所落成迄舊事件整理の爲め執務中の所(平町前丸新館隣電話六二番)にて御取扱致します

- ◎無煙無臭デ火付ガ早ク、火持チ良ク、火力ガ強ク、日常ノにヤキニハコナ便利ナ品ハアリマセン。
- ◎ソレデ値段ハ大變オ安ク、木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス。
- ◎ドナンニ喰はずきらいノ人デモ一度使へバ必ず御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス。
- ◎値段ハ壹箱金貳圓 個數ハ約八百個内外
- ◎御申越次第見本持參御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ

阿部石炭商店 電話二三七